

令和8年度 第1回

大阪府立狭山池博物館運営審議会

令和8年7月16日

1. 本審議会を開催目的

2. 取組み状況

2-1. 中長期に向けた取組み

2-2. 継続的な運営マネジメント(来館者数・満足度)

2-3. 効率的・効果的な運営について

3. 取組み評価

1.本審議会の開催目的

(目的)

本審議会は、財政的制約や限られた人的資源のもとで、大阪府、大阪狭山市及び狭山池まつり実行委員会による三者の協働により運営されている狭山池博物館の効果的・効率的な運営及び取組みのあり方を検討するため、平成29年11月15日に大阪府知事より「大阪狭山池博物館の効果的、効率的な運営について」の諮問を受けて設置されたものである。

(審議経過)

第1回 (H29-1) H29.11.15 ○ 博物館の現状把握		
第2回 (H29-2) H30.3.8 ○ 検討（運営体制、情報発信、運営コストなど）課題の抽出		(委員意見) ・ 博物館が目指す目標設定の明確化が必要 ・ 運営改善の方向性の検討が必要
第3回 (H30-1) H30.6.27 ○ 効果的・効率的な運営に向けた方向性について ・ 博物館の意義と目指すべき方向性 ・ 収支改善方策検討の方向性		(委員意見) ・ 目標設定および運営改善の方向性について了解 ・ 実現可能性の検討が必要
第4回 (H30-2) H30.9.26 ○ 効果的・効率的な運営方針（素案）について		(委員意見) ・ 委員意見を反映して素案を修正し、中間答申を取りまとめ、案を示すこと
第5回 (H30-3) H31.1.21 ○ 中間答申（案）について		(委員意見) ・ とりまとめられた中間答申に基づいた運営を実践し、方向性の検証が必要
第6回 (R1) R2.2.3 ○ 中間答申に基づく取組みの方向性の検証 ・ 取組み目標と成果指標の設定 ・ 今後の集中取組期間とその後の進め方		(委員意見) ・ 取組みの目標の明確化を行うこと ・ 成果指標を最終答申までに検討すること
第7回 (R2) R2.10.15 ○ 取組目標の明確化と成果指標の検討 1. 中間答申の概要 2. 目指すべき姿と成果指標について 3. 開館20周年イベントの概要 4. 今後のスケジュール		(委員意見) ・ コロナ禍での影響や開館20周年記念イベントでの検証結果を踏まえて、数値を含めて指標を提示すること
第8回 (R3) R3.12.16 ○ 成果指標の設定と今後の運営展開について		最終答申

1.本審議会の開催目的

今回の 実施目的	・令和3年度の最終答申「大阪府立狭山池博物館の効果的、効率的な運営について」に基づき、最終答申から5年が経過し、実施した取組みや答申で示された成果指標/目標値の達成状況の確認 ・狭山池博物館が抱える課題について、解決策の検討
評価の視点	①成果指標と目標値の達成状況の確認 ②狭山池博物館の課題に対する施策の検討
審議 スケジュール (予定)	(第1回) ・過年度審議会で設定した最終答申後の成果指標報告
	(第2回) ・博物館が抱える課題の解決策
	(第3回) ・令和8年度以降の運営方針について

2.取組み状況

■ 狭山池博物館の中長期に向けた取組み → 2-1

以下3つの柱と対応した中長期の取組みの方向性に即して実施した事業等報告

- ① 土木の歴史的価値の継承
- ② 土木事業・土木技術の歴史・「知」の交流・発信拠点
- ③ 地域魅力創造

■ 継続的な運営マネジメント → 2-2

令和3年度に設定した成果指標と目標値をもとにした博物館運営の報告

指標項目	成果指標の目標値（満足度（質的）はイベントアンケートの「満足」の割合）
来館者数（量的）	来館者数 年間 10 万人以上
満足度（質的）	博物館全体:75% 土木の歴史的価値の継承:70% 土木事業・土木技術の歴史・「知」の交流・発信拠点(防災教育拠点):80% 地域魅力創造:80%

※令和3年度「大阪府立狭山池博物館の効果的、効率的な運営について（答申）」より抜粋

■ 効率的・効果的な運営について→ 2-3

- （1）博物館全体の空間の多様な主体による利活用（施設の効果的活用）
- （2）中長期の取組み実現に向けた新たな収入（自主財源）確保

2.取組み状況 > 2-1.中長期に向けた取組み

○具体的な中期的な取組み内容と成果

土木の歴史的価値の継承

展示改善・収蔵品活用による 魅力向上と発信強化

- ・ 狭山池における研究・調査により得られた知識・情報を取り入れた展示・解説の提供
- ・ 狭山池への興味の有無に関係なく、誰もがわかる展示・解説の提供
- ・ 狭山池の必要性・重要性をより広く伝えるための情報発信

魅力的な展示充実 (デジタル技術導入等)

- ・ 展示のデジタル技術の導入
- ・ 展示と現物（狭山池）の一体化（狭山池現地の説明板改良等）
- ・ 残存する池守田中家文書の解読・発信

土木事業・土木技術の歴史・「知」の交流・発信拠点

土木の役割・魅力PR

- ・ 土木の役割・魅力PR

防災教育の拡充

- ・ 土木・建築などの関係団体との連携体制を構築し、情報発信、イベントの実施
- ・ 集積した情報の適切な公開・発信
- ・ 「日本最古のダム式ため池」「安藤建築」という特性を活かしたイベント実施

調査・研究の拠点機能強化 (土木技術等アーカイブス整備 ・教育研修等メニュー充実)

- ・ 常設の防災教育拠点施設の設置
- ・ 資料・情報等のデジタルアーカイブス作成

地域魅力創造

地域魅力発信

- ・ 地域魅力発信

多様な利活用推進

- ・ 多様な利活用推進
- ・ 広報活動を通じた魅力の発信
- ・ ボランティア主導による地域に根差したイベントの実施
- ・ 市のまちづくり基本構想との一体的な博物館運営の実施

狭山池との一体的魅力創造 (狭山池の価値を高める環境整備)

- ・ 歴史資産の活用
- ・ 狭山池に集える水と緑の歩行空間ネットワークづくり
- ・ パークマネジメント（狭山池公園）との相乗効果発現（地域活動や日常利用の場の創出）
- ・ 民間による狭山池公園・狭山池博物館の運営サポート

2.取組み状況 > 2-1.中長期に向けた取組み

○具体的な中期的な取組み内容と成果（土木の歴史的価値の継承）

土木の歴史的価値の継承

展示改善・収蔵品活用による 魅力向上と発信強化

- ・ 狭山池における研究・調査により得られた知識・情報を取り入れた展示・解説の提供
 - **解説ボランティアを対象とした学芸員によるステップアップ講座の開催**
- ・ 狭山池への興味の有無に関係なく、誰もがわかる展示・解説の提供
 - **多言語版のリーフレット作成（西・仏）**
 - **「おでかけ博物館」や万博でのPR**
 - **サンデーガイドの開催**
 - **新規紙芝居の作成と実演の拡大（万博での上演）**
- ・ 狭山池の必要性・重要性をより広く伝えるための情報発信
 - **「狭山池旧取水塔」、「狭山池北堤堤体」、「狭山池木製梓工」が府登録文化財へ登録**
 - **池守田中家旧宅の史跡狭山池の追加指定**

魅力的な展示充実 （デジタル技術導入等）

- ・ 展示のデジタル技術の導入
 - **Wi-Fi環境再整備**
- ・ 展示と現物（狭山池）の一体化（狭山池現地の説明板改良等）
 - **狭山池堤上にある展示解説版の更新**
 - **予約制狭山池ガイドツアー**
- ・ 残存する池守田中家文書の解読・発信
 - **ボランティアによる古文書整理補助**
 - **古文書をテーマとした連続講座の開催**
 - **池守田中家資料整理 国庫補助事業実施**

2.取組み状況 > 2-1.中長期に向けた取組み

○具体的な中期的な取組み内容と成果（土木事業・土木技術の歴史・「知」の交流・発信拠点）

土木事業・土木技術の歴史・「知」の交流・発信拠点

土木の役割・魅力PR

- ・ 土木の役割・魅力PR
 - **万博ダムカードの配布**
 - **「レンガでアーチ橋を作ろう」の開催**

調査・研究の拠点機能強化 （土木技術等アーカイブス整備 ・教育研修等メニュー充実）

- ・ 常設の防災教育拠点施設の設置
 - **府の防災施設と連携したパネル設置**
- ・ 資料・情報等のデジタルアーカイブス作成
 - **HPデジタルアーカイブス整備**

防災教育の拡充

- ・ 土木・建築などの関係団体との連携体制を構築し、情報発信、イベントの実施
 - **建設技術展でのPR活動**
 - **市民団体による防災イベントの開催（賃館）**
- ・ 集積した情報の適切な公開・発信
 - **土木遺産展に伴う動画配信**
 - **HPデジタルアーカイブス整備**
 - **コロナ禍における展示解説動画配信**
- ・ 「日本最古のダム式ため池」「安藤建築」という特性を活かしたイベント実施
 - **「御財印めぐり」への参加・御財印配布**

2.取組み状況 > 2-1.中長期に向けた取組み

○具体的な中期的な取組み内容と成果（地域魅力創造）

地域魅力創造

地域魅力発信

- ・ 地域魅力発信
 - 狭山池まつりへの積極的な参加

狭山池との一体的魅力創造 (狭山池の価値を高める環境整備)

- ・ 歴史資産の活用
 - 休館に伴う狭山池歴史ウォークの拡大開催
- ・ 狭山池に集える水と緑の歩行空間ネットワークづくり
 - 副池オアシス公園の再整備
- ・ パークマネジメント（狭山池公園）との相乗効果発現（地域活動や日常利用の場の創出）
 - 河川特区申請を活用した商業施設誘致（狭山池を核としたまちづくり協議会等の活動）
 - 公民連携による「狭山池ダムクーヘン」の販売
- ・ 民間による狭山池公園・狭山池博物館の運営サポート
 - 市民交流拠点「さやりんbase」の開設

多様な利活用推進

- ・ 多様な利活用推進
 - 学校連携事業「東っこ学芸員になろう」の実施(R6)
 - 特別展示室・水庭等の民間利活用
 - 映画ロケ地利用による共同PR
 - 狭山池イベントと連携した開館延長等の実施
- ・ 広報活動を通じた魅力の発信
 - HPやSNS(X,Instagram等)による発信強化
 - 地域FMラジオ番組への出演
- ・ ボランティア主導による地域に根差したイベントの実施
 - 池底&博物館ツアー、狭山池クリーンアクション等との連携
 - 予約制狭山池ガイドツアー
 - ボランティア出張ガイド
- ・ 市のまちづくり基本構想との一体的な博物館運営の実施
 - 副池オアシス公園の再整備

2.取組み状況 > 2-1.中長期に向けた取組み

○具体的な中期的な取組みの評価（土木の歴史的価値の継承）

	土木の歴史的価値の継承
中期的取組みの 方向性及び評価	○展示改善・収蔵品活用による魅力向上と発信強化
	多言語化 ・多言語説明資料（スペイン語/フランス語）を作成するとともに、翻訳機を導入
	ボランティア ・ボランティアを対象に学芸員が講座を実施 ・外国語による館内案内に対応できるよう育成講座を実施
	文化財登録 ・池守田中家旧宅の史跡狭山池への追加指定や、狭山池北堤堤体、狭山池旧取水塔及び狭山池木製杵工の大阪府登録文化財への登録を実施
	○魅力的な展示充実（デジタル技術導入等）
	Wi-Fi ・多言語化対応した館内QRコードの利用促進に向け、Wi-Fi環境の再整備
	案内充実 ・狭山池堤上に設置している展示解説板の更新 ・狭山池ガイド事業を拡充し、博物館と現地の歴史資産を一体的に紹介する取り組みを実施
	歴史資料 保存・活用 ・池守田中家文書の整理事業（国庫補助事業）を実施 ・古文書をテーマとした学芸員による連続講座を開催 ・歴史資料の保存・活用とその価値の発信に尽力
考察	・「インバウンド対応」「狭山池関連文化財の歴史的価値の向上」などを重点的に実施 ・海外からの来館者に対応するため多言語化・Wi-Fi環境整備・ガイドの充実を実施 ・文化財登録など博物館の一層の地位の確立

2.取組み状況 > 2-1.中長期に向けた取組み

○具体的な中期的な取組みの評価（土木事業・土木技術の歴史・「知」の交流・発信拠点）

	土木事業・土木技術の歴史・「知」の交流・発信拠点
中期的取組みの 方向性及び評価	○土木の役割・魅力PR 新たな魅力発信 ・府内3ダムが連携した「万博ダムカード」の作成・配布 ・イベントを開催し土木の役割や魅力について幅広い世代への理解を促進
	○防災教育の拡充 防災講座 出前講座 ・既存事業である教職員や小学生を対象とした防災講座や出前講座を継続的に実施し、防災意識の向上に尽力
	デジタル アーカイブス ・館内展示資料のデジタルアーカイブスをHPで公開するとともに、展示内容を紹介する動画や博物館PR動画をYouTubeで配信し、好評を得ることができ、来館が難しい方への情報発信が充実
	御財印めぐり ・登録文化財の会が提供する「御財印めぐり」に参加し、ご財印を配布
	○調査・研究の拠点機能強化（土木技術等アーカイブス整備・教育研修等メニュー充実） 防災教育 拠点施設 ・デジタルアーカイブスの取組みなどにより、収蔵資料や調査研究成果へのアクセス向上と情報発信が充実 ・常設でなく、府の防災施設と連携したパネルを設置し、府の防災事業のPRを実施
考察	・コロナ禍においての魅力発信として、「デジタルアーカイブス」「YouTube配信」などのデジタル情報の提供を充実 ・日本で唯一の土木主体博物館としての防災教育にも注力

2.取組み状況 > 2-1.中長期に向けた取組み

○具体的な中期的な取組みの評価（地域魅力創造）

	地域魅力創造（1/2）
中期的取組みの 方向性及び評価	○地域魅力発信
	新たな魅力発信 ・狭山池まつりでの活動を館外に拡大するなど、積極的なイベント参加を行い、来館促進に向けたPRを行うことで博物館の認知向上に関与
	○多様な利活用推進
	新たな魅力発信 ・常設展示室を映画ロケ地として活用する機会を捉え、映画公開時に共同PRを実施し、博物館の周知に関与 ・自主財源の確保を目的として営利利用料金等を設定し、特別展示室や水庭等について民間による利活用を推進
	SNSの活用 ・ホームページやSNSによる情報発信を強化するとともに、地域FMラジオ番組やテレビ番組への出演を通じて、博物館及び狭山池の魅力を発信
	ボランティアの活動 ・予約制の狭山池ガイドツアー、サンデーガイド、出張ガイド等、ボランティアによる活動の拡大を支援し、狭山池と博物館の魅力の更なる向上に寄与
	水とみどりのネットワーク構想 ・大阪狭山市の計画である「水とみどりのネットワーク構想」について、府市連携した取組みとともに、博物館、狭山池、副池が一体となった賑わいづくりの検討を実施

2.取組み状況 > 2-1.中長期に向けた取組み

○具体的な中期的な取組みの評価（地域魅力創造）

	地域魅力創造（2/2）
中期的取組みの 方向性及び評価	○狭山池との一体的魅力創造（狭山池の価値を高める環境整備） 狭山池歴史 ウォーク ・狭山池現地案内イベント「狭山池歴史ウォーク」について、博物館の工事休館期間を活用し、募集人数を拡大して開催し、各回とも定員を上回る応募があり、歴史資産「狭山池」の活用事業として定着 副池オアシ ス公園の 再整備 ・令和2年度の南堤スロープ開通に続き、副池オアシス公園の再整備を実施し、官民連携による狭山池周辺の賑わいづくりを継続的に推進 河川空間を 活用した にぎわい ・河川特区申請を活用した商業施設誘致（狭山池を核としたまちづくり協議会等の活動）を進め、関連事業者と連携した商品開発を行うなど、狭山池の魅力発信と周辺エリアの活性化に注力 ・狭山池ダム管理棟を活用した、狭山池交流拠点「さやりんbase」を開設 三者協働 運営 ・博物館三者協働運営を継続するとともに、市民による博物館運営への参画の維持・発展に努めた
考察	・「ボランティア活動の充実」「パークマネジメントの活性化」「施設利用対象の拡大」など、運営主体それぞれが、主体的に取組みを拡大 ・HPやSNS、TVなど様々なツールによる魅力の発信 ・様々な取組みをボランティアによる活動で実施

2.取組み状況 > 2-1.中長期に向けた取組み

○具体的な中期的な取組みの評価

	取組みの柱		
	土木の歴史的 価値の継承	土木事業・土木技術の歴史・ 「知」の交流・発信拠点	地域魅力創造
中期的 取組みの 方向性	○展示改善・収蔵品活用による魅力向上と発信強化 ○魅力的な展示充実（デジタル技術導入等）	○土木の役割・魅力PR ○防災教育の拡充 ○調査・研究の拠点機能強化（土木技術等アーカイブス整備・教育研修等メニュー充実）	○地域魅力発信 ○多様な利活用推進 ○狭山池との一体的魅力創造（狭山池の価値を高める環境整備）
長期的 取組みの 方向性	○常設展示の全面的リニューアル	○日本で唯一の土木主体博物館としてのプレゼンス確立	○狭山池を核としたまちづくり
評価	・工事による休館の影響を受けたものの、各取組みの柱の方向性に沿って着実に実施され、概ね達成できている。 ・特に、文化財指定・登録の推進、多言語対応の充実、デジタルアーカイブスの整備、ボランティア活動の拡充など魅力向上を図った。 ・海外からの来館者も増加していることから更なるデジタル技術の導入方法の検討やSNS活用等による博物館の周知/認知が必要		

2.取組み状況 > 2-2.継続的な運営マネジメント（来館者数・満足度）

来館者数（量的）の成果

【目標】 来館者数 10 万人以上

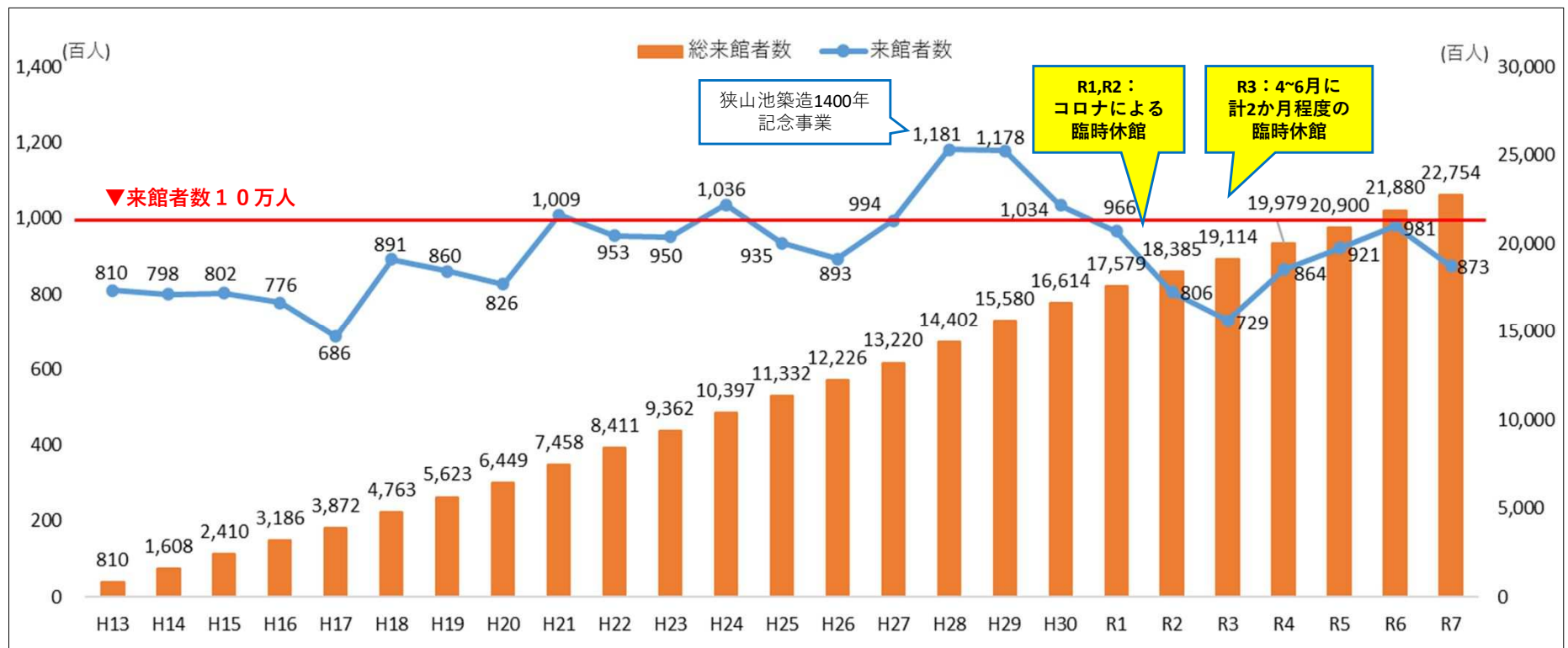
※R3年度の最終答申にて、来館者数の成果指標は、開館時からの目標である10万人以上を継続して達成できるよう「10万人以上」を設定した。

【年度別来館者数】 ：来館者数10万人以上

【単位：人】

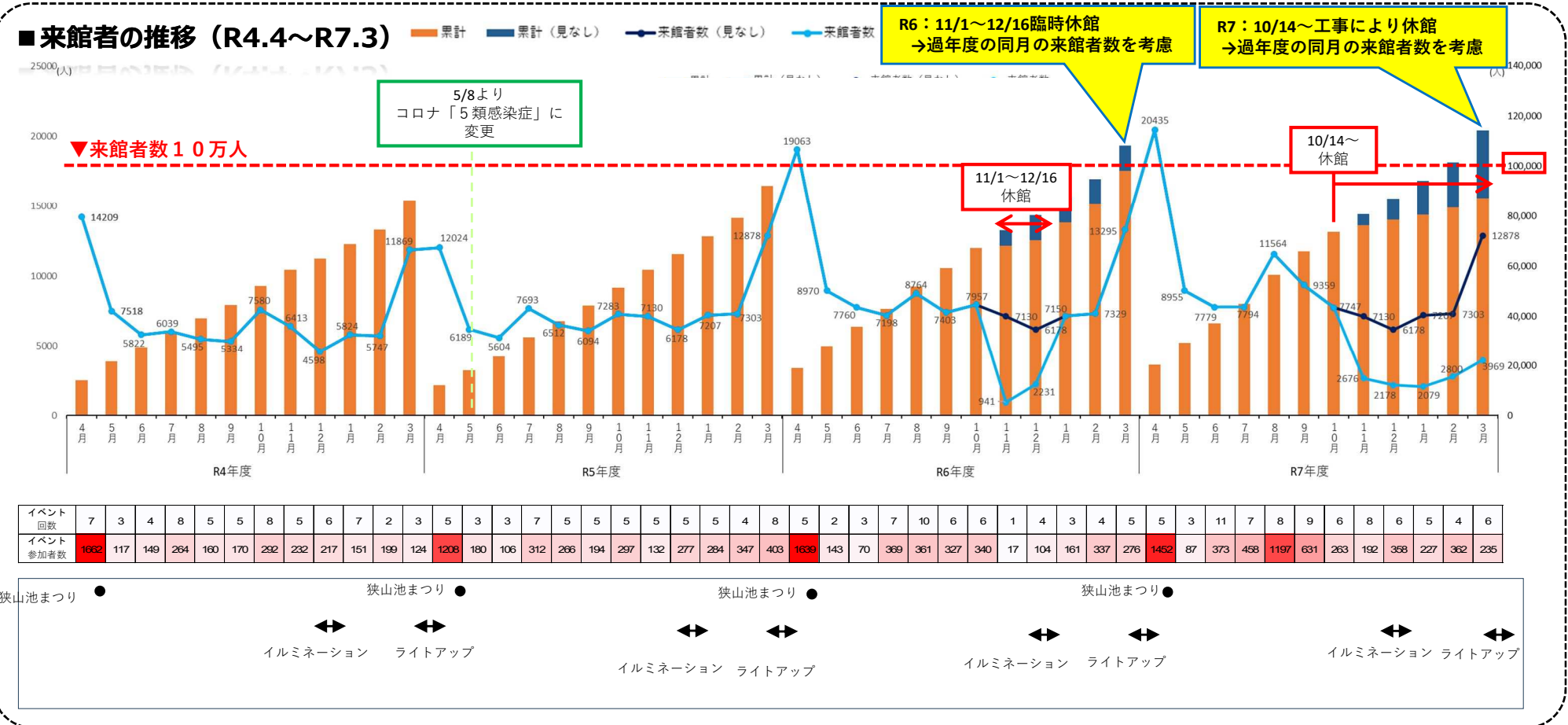
年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
来館者数	80,994	79,842	80,159	77,633	68,552	89,111	86,033	82,598	100,906	95,313	95,013	103,595

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
来館者数	93,495	89,331	99,442	118,147	117,798	103,409	96,566	80,557	72,944	86,448	92,095	98,061	87,335



2.取組み状況 > 2-2.継続的な運営マネジメント（来館者数・満足度）

来館者数（量的）の成果



■ 来館者数における分析・評価

- ・3、4月の来館者：多 ⇒ 狭山池公園での桜関連イベントが影響
- ・7、8月の来館者：やや多 ⇒ 親子参加型イベントの開催数の多さが影響
- ・R4～R6にかけて年間来館者数は増加傾向。コロナにより来館者数が減っていたが、**コロナ明け以降は来館者数が回復**
- ・R6,R7の休館期間の来館者数を過年度の該当月に置換え ⇒ **R6：約10万8千人 R7：約11万4千人**

■ 今後の来館者数（量的）指標の設定

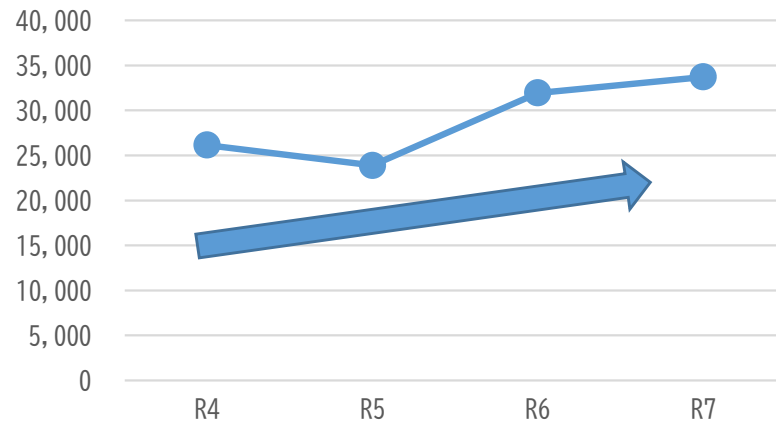
- ・工事による休館により、実情年間10万人は未達成であるため、**引続き目標値を10万人**としたい

2.取組み状況 > 2-2.継続的な運営マネジメント（来館者数・満足度）

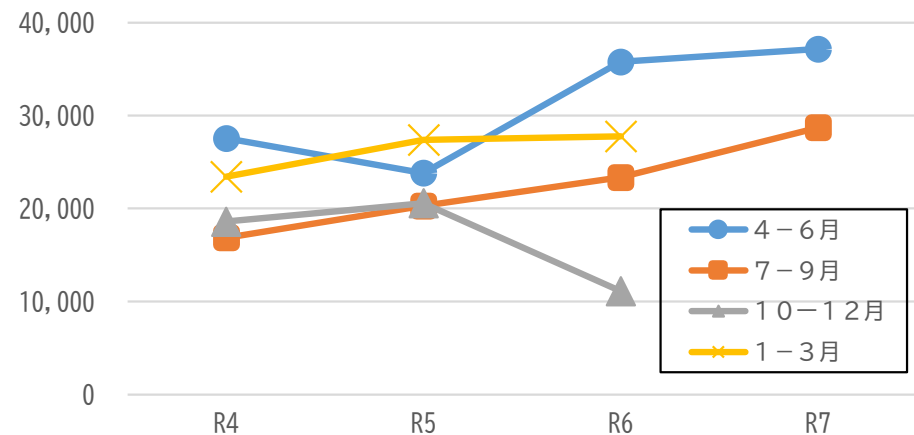
【来館者数の傾向】

- ・年間で来場者が一番多い桜の時期について、**令和4年度から増加傾向**
- ・四半期単位での来場者についても、**令和4年度から増加傾向**
（令和6年10-12月は閉館の影響により来館者数が減少）

桜の時期の来館者数の推移（3月 4月の合計）

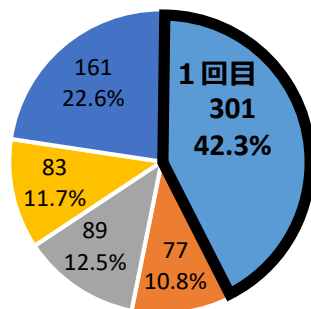


来館者数の推移（四半期単位）

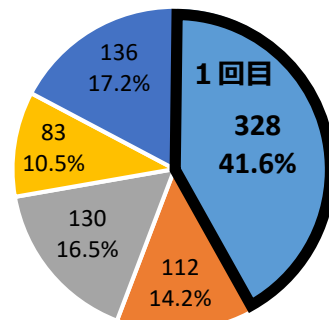


【来館頻度】

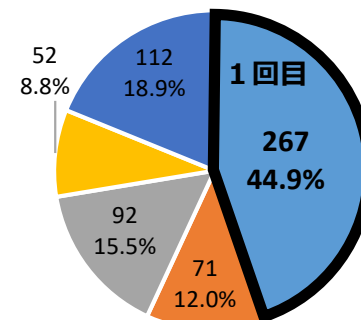
- ・来館頻度は、**初めて（1回目）が約4～5割**となっており、年々初めての来館者の割合が増加傾向にある。



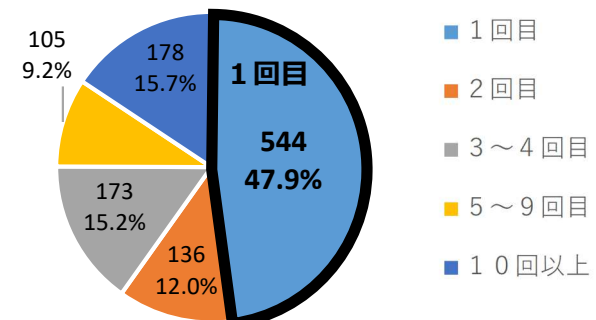
▲令和4年度



▲令和5年度



▲令和6年度



▲令和7年度

- 1回目
- 2回目
- 3～4回目
- 5～9回目
- 10回目以上

2.取組み状況 > 2-2.継続的な運営マネジメント（来館者数・満足度）

※満足度調査：イベントアンケートの回答のうち「満足」以上の平均値 ※()内はアンケート回収数

取組みの柱	イベント名	R4 (%)	R5 (%)	R6 (%)	R7 (%)	平均 (%)	分析 評価	指標 (%)
狭山池博物館全体の満足度 ※館の雰囲気、展示内容、スタッフの対応、館の施設・設備		74.6 (721)	72.2 (715)	78.3 (597)	79.2 (1144)	76.1	・どちらかといえば満足を含めると平均98.4% ・R5から満足度は上昇し続けているため、今後も来館者の意見を取り入れつつ満足度維持に努めていく。	75
土木の歴史的価値の継承 ※特別展を成果指標の検証に選定	R4 古墳時代導水施設の儀礼 田中家文書特別公開 R5 新大和川と石川の治水絵図 田中家文書特別公開 R6 交差する技術展 田中家文書特別公開 R7 古代河内湖沿岸の地域開発と水運	61.6 (249)	76.4 (90)	64.9 (96)	80.0 (66)	70.7	・満足度70%以下のイベント 古墳時代導水施設の儀礼(60%) 田中家文書特別公開(R4) (63%) 田中家文書特別公開(R5) (64%) 交差する技術展(66%) ・平均では指標値を満足しているため、今後も50代以上をメインターゲットとし、見やすい展示を進めていく。	70
土木事業・土木技術の歴史・「知」の交流・発信拠点 ※土木遺産展を成果指標の検証に選定	R5 土木遺産展（水） R6 土木遺産展（石） R7 土木遺産展（軍事と戦争）	—	76.8 (59)	73.6 (129)	67.4 (89)	72.6	・各年度80%以下と指標を満たしていない。 ・やや満足を含めると平均97.3%。 ・内容が難しい/深掘りが良いとの両方の意見があり、回ごとのターゲット層の検討やターゲット層以外に対する発信内容の検討が必要。	80
地域魅力創造 ※地域イベントのうち親子参加型イベント、継続して実施しているイベントを成果指標の検証に選定	R4 暮らしの道具展 池底&博物館ツアー R5 1970大阪万博と狭山ニュータウンの時代 池底&博物館ツアー フレッシュコンサート R6 暮らしの道具展 池底&博物館ツアー フレッシュコンサート R7 池守田中と狭山 池底ツアー フレッシュコンサート	83.6 (206)	80.8 (564)	92.0 (326)	84.6 (241)	85.3	・満足度が80%以下のイベント 暮らしの道具展(78%) 1970大阪万博と狭山ニュータウンの時代 (62%) 池守田中と狭山(74%) ・平均としては指標値を大きく上回る満足度が得られた。 ・イベントによりメインターゲットが異なるため、ターゲットに合ったイベントを実施することで継続して満足度が得られるよう引き続き努める。	80

■今後の満足数（質的）指標の設定

・『どちらかといえば満足』も含めると高い指標となっており、イベント毎でターゲットも異なるため、博物館全体：75%、土木の歴史的価値の継承：70%、土木事業・土木技術の歴史・「知」の交流・発信拠点：80%、地域魅力創造：80%を継続目標としたい

2.取組み状況 > 2-3.効率的・効果的な運営について

博物館全体の空間の多様な主体による利活用(施設の効果的活用)



▲ 撮影の貸館業務



▲ クーリングシェルター
(指定暑熱避難施設)
としての活用



▲ 青写真ポストカードを作る
地域イベントの場としての利用



◀ 狭山池まつりとの
コラボ企画

手づくりの灯りを
作成する
参加型のイベント



◀ 特別展開連事業として
土器のトートバック
を作るイベント

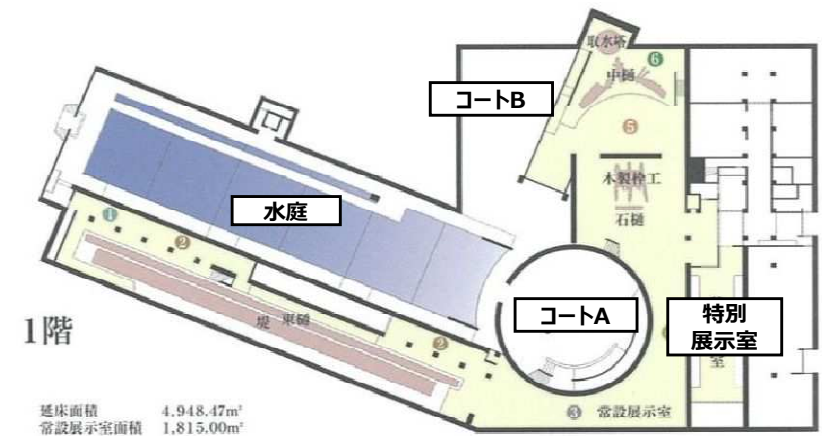
2.取組み状況 > 2-3.効率的・効果的な運営について

中長期の取組み実現に向けた新たな収入(自主財源)確保

【使用料の見直し】

近傍施設や類似施設の料金と比較し、価格帯との整合性を確認した上で、乖離が見られる単価については使用料の見直しを実施した。設定の無かったパブリックスペースなどについて、使用料収入を得る事につながった。

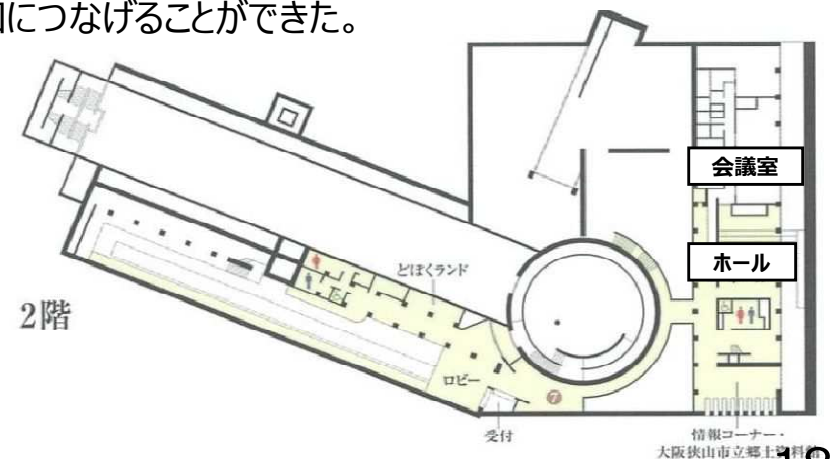
区分		室料(改定前)			室料(改定後)			備考
		午前	午後	全日	午前	午後	全日	
会議室	土曜日、日曜日又は休日	400	800	1,200	400	800	1,200	32.40m ² (12席)
	その他の日	400	700	1,100	400	700	1,100	
特別展示室	土曜日、日曜日又は休日	4,200	8,400	12,600	4,400	8,800	13,200	219.00m ²
	その他の日	3,500	7,000	10,500	3,600	7,400	11,000	
ホール	土曜日、日曜日又は休日	2,300	4,400	6,700	2,300	4,400	6,700	154.73m ² (126席)
	その他の日	1,900	3,900	5,800	1,900	3,900	5,800	
ホール付帯設備	ワイヤレスマイクロホン(1台)			1,000			1,000	-
	ビデオプロジェクター(一式)			3,000			3,000	
コートA	土曜日、日曜日又は休日	800	1,500	2,300	1,300	2,600	3,900	222.43m ²
	その他の日	700	1,300	2,000	1,100	2,200	3,300	
コートB	土曜日、日曜日又は休日	1,400	2,900	4,300	2,400	4,900	7,300	421.12m ²
	その他の日	1,300	2,500	3,800	2,100	4,200	6,300	
水庭(1段あたり)	水の入替えを行わない場合	土曜日、日曜日又は休日	500	1,000	900	1,700	2,600	149.17m ²
	水の入替えを行わない場合	その他の日	400	900	700	1,500	2,200	
	水の入替えを行う場合	土曜日、日曜日又は休日	11,800	12,300	12,800	12,200	13,000	
	水の入替えを行う場合	その他の日	11,700	12,200	12,600	12,000	12,800	
上記以外の空間 (100m ² あたり)	土曜日、日曜日又は休日	設定なし			600	1,200	1,800	-
	その他の日				500	1,000	1,500	



【営利料金の設定(新たな取組み)】

これまで営利料金が設定されていなかったことから、府有施設における同種の料金設定がある“大阪府立国際会議場”を参考に、新たに営利料金を設定した。これにより、施設使用料収入の増加につなげることができた。

区分			室料(改定前)			室料(改定後)			備考	
			午前	午後	全日	午前	午後	全日		
会議室	土曜日、日曜日又は休日		設定なし				500	1,100	1,500	32.40m2 (12席)
	その他の日						500	900	1,400	
特別展示室	土曜日、日曜日又は休日						7,000	14,100	21,100	219.00m2
	その他の日						5,800	11,800	17,600	
ホール	土曜日、日曜日又は休日						3,700	7,000	10,700	154.73m2 (126席)
	その他の日						3,000	6,200	9,200	
コートA	土曜日、日曜日又は休日						2,100	4,200	6,300	222.43m2
	その他の日						1,800	3,500	5,300	
コートB	土曜日、日曜日又は休日						3,800	7,800	11,600	421.12m2
	その他の日						3,400	6,700	10,100	
水庭(1段あたり)	水の入れ替えを行わない場合	土曜日、日曜日又は休日					1,400	2,700	4,100	149.17m2
		その他の日					1,100	2,400	3,500	
	水の入れ替えを行う場合	土曜日、日曜日又は休日					12,700	14,000	15,400	
		その他の日					12,400	13,700	14,800	
上記以外の空間 (100m2あたり)	土曜日、日曜日又は休日						1,000	1,900	2,900	-
	その他の日						800	1,600	2,400	



2.取組み状況 > 2-3.効率的・効果的な運営について

中長期の取組み実現に向けた新たな収入(自主財源)確保

【撮影料金の設定 **(新たな取組み)**】

これまで撮影料金が設定されていなかったことから、府有施設における同種の料金設定がある“大阪府立国際会議場”を参考に、新たに撮影料金を設定。

- ・動画撮影：165,000円（全日料金）
- ・写真撮影：82,500円（全日料金）



▲ 撮影の貸館業務

【特別展の有料化の検討】

・特別展の有料化に関するアンケート（R3年度以降、毎年実施）を行った結果、有料とした場合には入場しないと回答した来館者が多いことが判明。

→有料化は断念し、代替案として特別展の出展者から利用料として費用を徴収することとした。(R6.12に1件実施)



▲ にほんの あらたな てしごと 展 (R6)



2.取組み状況 > 2-3.効率的・効果的な運営について

中長期の取組み実現に向けた新たな収入(自主財源)確保

【駐車場の有料化】

駐車場の有料化に向けて、次のステップに沿って検討を行った。

1.設置候補地の検討

候補地①：既設駐車場(バス・身障者駐車場)を活用する

候補地②：外庭空間を活用する



2.博物館駐車場の有料化事例調査

調査対象とした博物館の多くには駐車場が整備されているものの、有料駐車場は33事例中7事例にとどまり、少数であった。

また、専用駐車場を有料としている事例は、33事例中1事例のみであった。

駐車場の有無			駐車料金		料金制度	
駐車場あり	博物館専用	14施設	有料	1施設	定額制	1施設
			無料	13施設	時間制	—
	周辺施設との共用	14施設	有料	4施設	定額制	2施設
			無料	10施設	時間制	2施設
	周辺駐車場利用	4施設	有料	2施設	定額制	2施設
			無料	2施設	時間制	—
駐車場なし		1施設	—	—	—	
合 計	駐車場あり	32施設	有料	7施設	定額制	5施設
	駐車場なし	1施設	無料	25施設	時間制	2施設

2.取組み状況 > 2-3.効率的・効果的な運営について

中長期の取組み実現に向けた新たな収入(自主財源)確保

【駐車場の有料化】

3.狭山池博物館周辺の公営駐車場調査

狭山池博物館周辺における公営駐車場については、無料で利用できる場所が多数。



4.有料駐車場の設置及び管理運営に係る事業者ヒアリング

ヒアリング結果は下記のとおりである。

- ・設備投資については、駐車場収入を考慮しても負担増となる。
- ・有料駐車場を設ける場合、周辺駐車場についても同時に有料化が必要

3.取組み評価

狭山池博物館の中長期に向けた取組みの評価

- 中期的取組みとして実施した内容は、工事による休館の影響を受けたものの、**各取組みの柱の方向性に沿って着実に実施され、概ね達成できているものと評価している**。特に、文化財指定・登録の推進、多言語対応の充実、デジタルアーカイブの整備、ボランティア活動の拡充などについては着実な成果が認められる。

継続的な運営マネジメントの評価

- 狭山池公園での桜関連イベントや大阪関西万博をきっかけに、来場数が増加したものの、狭山池博物館の工事による休館により、実情年間10万人は未達成であるため、**引続き目標値を10万人以上**としたい。
- 『どちらかといえば満足』も含めると高い指標となっており、イベント毎でターゲットも異なるため、**満足度は継続目標**としたい。

効率的・効果的な運営についての評価

- これまで設定した使用料等の見直しや新たな営利料金の設定をし、新たな収入を増やすことにつなげた。今後、更なる集客の確保に向けて、取り組んでいきたい。